

第2学年 学級活動指導案

平成28年10月18日 第5校時

小学校 2年13名

指導者 T1 学級担任

T2 栄養教諭

1 題材名 かんしゃして食べよう

活動内容(2) キ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

現代の日本では、食の安心安全に対する関心が高まり、地産地消が見直され、各地で産直市等が増えている。学校給食でも、地場産物の活用が積極的に行われている。しかし、一方では昔に比べてお店に並ぶ食べ物の種類も多く、輸入品も増え、生産者の顔や食べ物が作られる過程が見えにくくなっている実態もある。

本学級の児童は、給食を楽しみにしている。事前に行ったアンケートでは、ほとんどの児童が、好きな食べ物は、カレー、シチュー、ハンバーグ等、比較的やわらかく食べやすい料理と答えている。一方、苦手な食べ物は野菜の料理と答えた児童が13人中10人であった。また、苦手なものが出たらどうするかという質問では、全部食べると答えた児童は13人中8人、少し食べる児童が3人、食べないと答えた児童は2人であった。給食時には、苦手なものを最初に減らしてしまったり、牛乳がなかなか飲めなかったりする児童もいるが、がんばって少しでも食べようとする意欲も見られる。

そこで、本時では、自分たちが食べている給食はどのような人が関わって、どのような仕事の過程を経て作られているのかを知らせたいと思う。その中で、給食センターの栄養士や調理員さん、農家の方々の働きや苦労、思いや願いを知ることにより、たくさんの人々のおかげで食べられるということを理解させたい。そして、児童が自分の食生活を振り返り、自分にできることやがんばりたいこと等の目標を考えられるようにしたい。

3 題材の目標

自分たちが食べている給食は、多くの人々が関わっていることに気づき、感謝して食べようとする気持ちをもつことができる。

4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
給食に関わっている人々の思いに関心をもち、感謝して残さず食べようとする意欲をもっている。	感謝して残さず食べるために、自分なりの目標を考え発表している。	給食に関わっている人の思いや、感謝して残さず食べることの大切さについて理解している。

5 食育の視点

給食に関わっている人々の思いに関心をもち、感謝して食べることの大切さを理解し、残さず食べようとする意欲をもつ。(感謝の心)

6 指導計画

- ・事前指導・・・すききらいに関するアンケート
ビデオ(調理員さんの仕事)視聴
- ・本時・・・学級活動「かんしゃして食べよう」
- ・事後指導・・・給食時の指導

7 本時

(1) 目標

自分たちが食べている給食は、多くの人々が関わっていることに気付き、感謝して残さず食べようとする気持ちをもつことができる。

(2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
3分	1 アンケートの結果を見たり、給食の時間を思い出したりして、自分たちの食事の状況を知り、本時のめあてをつかむ。	○アンケートの結果を提示したり、給食の状況を思い出させたりして、自分の食生活について振り返らせる。(T1)	
20分	2 給食に関わっている人々の願いや思いを考え、発表する。	○給食が届くまでに、どのような仕事をしている人がいるか考えさせる (T1) ○イラストや写真を提示し、どのような人が関わっているかが分かるようにする。(T1・T2) ○個別に考えさせた後、ペアになり、お互いの意見について考えたり確認させたりする。(T1) ○机間指導をし、それぞれの人たちの願いや思い、苦勞していること、嬉しいこと、気を付けていること等について、考え、発表させる。(T1・T2)	
15分	3 農家の人の仕事の様子やインタビュー等の映像を見て、感じたことを発表する。	○農家の人の仕事の様子や調理員さんからのメッセージ等の映像や写真を見せることにより、思いや願い、苦勞などを実感できるようにする。(T1・T2) ○映像を見て思ったことを発表させる。(T1) ○栄養士や調理員の思い等を補足説明し、みんなのために一生懸命作っていることを伝える。(T2)	[知識・理解] 給食に関わっている人の思いや、感謝して食べることの大切さについて理解している。 (発表・行動観察)
7分	4 本時の学習内容を振り返り、思ったことや食事の時に自分ががんばりたいと思うことを考える。	○自分の食生活を振り返らせ、今日から自分ががんばろうと思う目標を立てることができるよう、助言する。(T1)	[関心・意欲・態度] 自分の目標を考え、残さず食べようとする意欲をもっている。 (ワークシート・発表)

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断させる状況	・給食には、多くの人々がかかわっていることや、感謝して残さず食べることの大切さを理解している。 ・自分の食生活での改善点を考え、実践しようとしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・給食に関わる人々の映像を見せることで、理解しやすくする。 ・アンケートの結果や、普段の給食の様子を振り返らせることで、自分の食生活を見直すことができるようにする。

8 他教科との関連

1年生道徳「きゅうしょくしつを見て」で学習したことと関連付けたり、5年生社会科「わたしたちの食生活と食料生産」の学習で、人々がどんな思いをもって仕事をしているかにつなげたりすることができる。